



第127回IEEE関西支部TPC技術講演会
IEEE Fellow 授与記念講演 (NC共催)

AIやカーボンニュートラルの進化を支える デバイスプロセス・信頼性技術

日時

2024年11月20日 (水)

15:00~16:30

オンライン開催 200名 (先着順)

プログラム

15:00~15:05	開会挨拶、講師紹介
15:05~16:05	講演
16:05~16:15	質疑応答
16:15~16:30	閉会挨拶、お知らせ

講演者



奈良先端科学技術大学院大学
物質創成科学研究科 教授
浦岡 行治 氏

講演概要

ICTやAIの急速な進化がもたらす超情報化社会、そしてカーボンニュートラルやSDGsが目指すサステナブルな未来。このような未来を支える基盤となっているのが、半導体、太陽電池、ディスプレイなどの薄膜デバイス技術です。これらの技術の驚異的な進化によって、省エネルギーでありながら高性能なデバイスが次々と実現され、データセンター、スマートフォン、自動車、再生可能エネルギーなど、現代社会のあらゆる分野でその進化を推進しています。

浦岡氏は、この薄膜デバイス技術の中核を担うプロセス技術と信頼性技術の研究に長年にわたり尽力されてきました。本講演では、IEEEフェローの称号を授与された根拠となる発光現象を活用した革新的な薄膜デバイスの信頼性評価技術をはじめ、最先端半導体の立体構造チャネル実現に不可欠なALD技術や、高効率太陽電池の低温薄膜形成技術など、世界をリードするプロセス・デバイス技術の最新の成果をご紹介します。

1985年豊橋技術科学大学電気電子工学科修士修了。松下電器産業株式会社（現パナソニック）半導体研究センター入社。1999年奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科助教授。2009年同大学教授。現在 マテリアル研究プラットフォームセンター長。IEEEフェロー。応用物理学会フェロー。専門は半導体工学、ディスプレイ工学。

参加申込はこちら



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_I-1FitXIT0GVhUN-KUQWdA

お申込みは11月18日(月)まで